

上里遺跡（縄文時代晩期） 発掘調査現地説明会資料

2009年10月3日
(財)京都市埋蔵文化財研究所
<http://www.kyoto-arc.or.jp/>

調査地：京都市西京区大原野上里南ノ町地内

調査期間：2009（平成21）年3月18日～10月30日（予定）

遺跡名：長岡京跡・上里遺跡（縄文～奈良時代）

調査面積：約2,240㎡

はじめに

この調査は京都市が計画する伏見・向日町線道路新設工事に先立って2001年度に西の方から調査を開始し、2003年度・2005～2007年度と順次東へ調査を進め、今回が最も東の端での調査となります。

今回の調査は今年3月から開始しました。調査区は段丘上のⅠ区と段丘下のⅡ区、2007年度の未調査区であるⅢ区を設定しました。これまでにⅡ・Ⅲ区の調査と、Ⅰ区の長岡京期と弥生時代前期の調査を終了しており、長岡京期では溝（一条大路南側溝）・築垣とみられる2列並行の柱穴、弥生時代前期では竪穴住居・土坑・柱穴群・炉跡などが見つかりました。Ⅱ区では長岡京期以前の遺構を確認することができませんでした。

調査成果

今回の調査で検出した縄文時代の遺構は、今からおよそ3,000年前にあたる縄文晩期前半のもので、2006・2007年の調査と同じ時期のもので、

Ⅰ区では、調査区の南半から北東にかけて自然地形と考えられる大きな落込み1155があり、その南側肩口を中心に散在した状態で多くの土器や石器が出土しました。土器には、煮炊きなどに使用したり盛り付けなどに使ったものがあり、完形に近いものが多く出土しています。調査区の北西では、土坑（849・1033・1079）や多数の柱穴、大きな土坑（848）などを確認しています。直径5cm以下の杭状のものには、まとまりが認められることから、建物の支柱や柵などになる可能性があります。また、調査区の西端では土器棺墓が少なくとも2基見つかっています（土器棺墓740・1202）。

調査の終了したⅢ区では、2007年度調査で検出した溝1215の続き（溝3263）や、この溝の底で西から南東へ続く溝3274を検出しました。これらの堆積土からは土器や石器、炭化物が多量に出土しています。さらに、溝3274の底では、流れ方向に直交して板状のものを立てた痕跡（土坑3288）を確認しました。また、Ⅲ区の東端では、土坑3266があり、この西端部分から多量のサヌカイト（石材）の破片が出土しました。石器を製作した場所である可能性があります。

まとめ

2006年度から縄文時代晩期の集落遺跡を調査した結果、集落の土地利用状況が明らかになってきました。2006年度調査区は竪穴住居と土器棺墓があることから居住域と墓域が隣接していたことがうかがえます。2007年度調査区は溝1215・1067の南側に土器棺墓や土坑がたくさんつくられていることから、溝の南側から今年度調査区の南西部分に墓域が形成

されたようです。溝の間の空閑地は土坑3266のような遺構の存在から、作業場所として利用されていた可能性もあります。今年度調査区北西には、柱穴が多数あることや焼土面が見られることから西側とは別の居住域と考えられます。自然の落込み1155を村の境界と意識していたのでしょうか。

落込み1155における南側の肩口から底にかけての土器の出土状況は、2007年度の溝1215の遺物出土状況とよく似ています。つまり、居住域の側から、壊れた土器や石器破片など日常生活における不要物が捨てられ堆積したものとみられます。このことから、今回の調査区の南側にもさらに別の集落（居住域）が広がっていた可能性が考えられます。

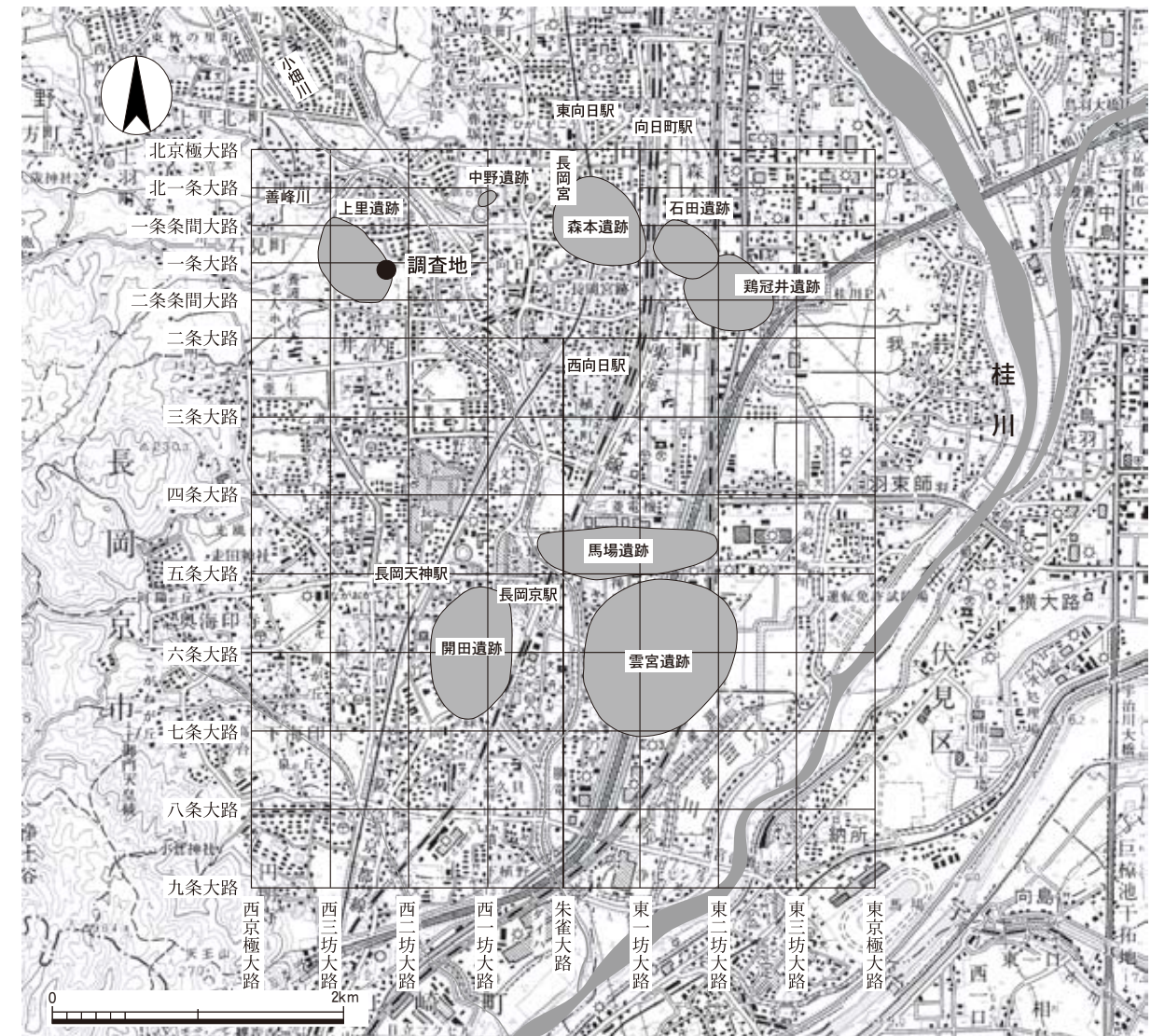


図1 調査位置図

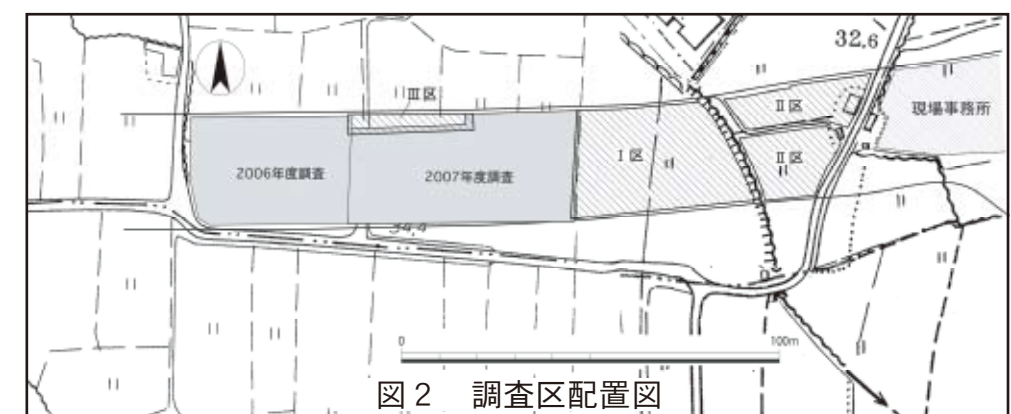


図2 調査区配置図

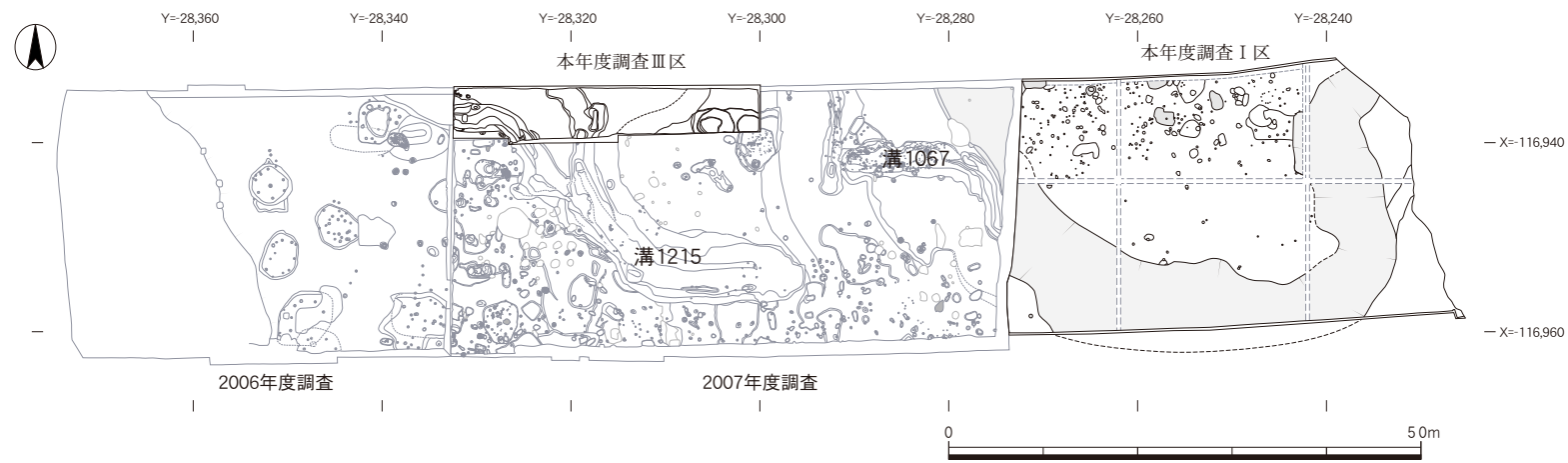


図3 2006・2007年度と本年度縄文時代晩期遺構図(1/800)

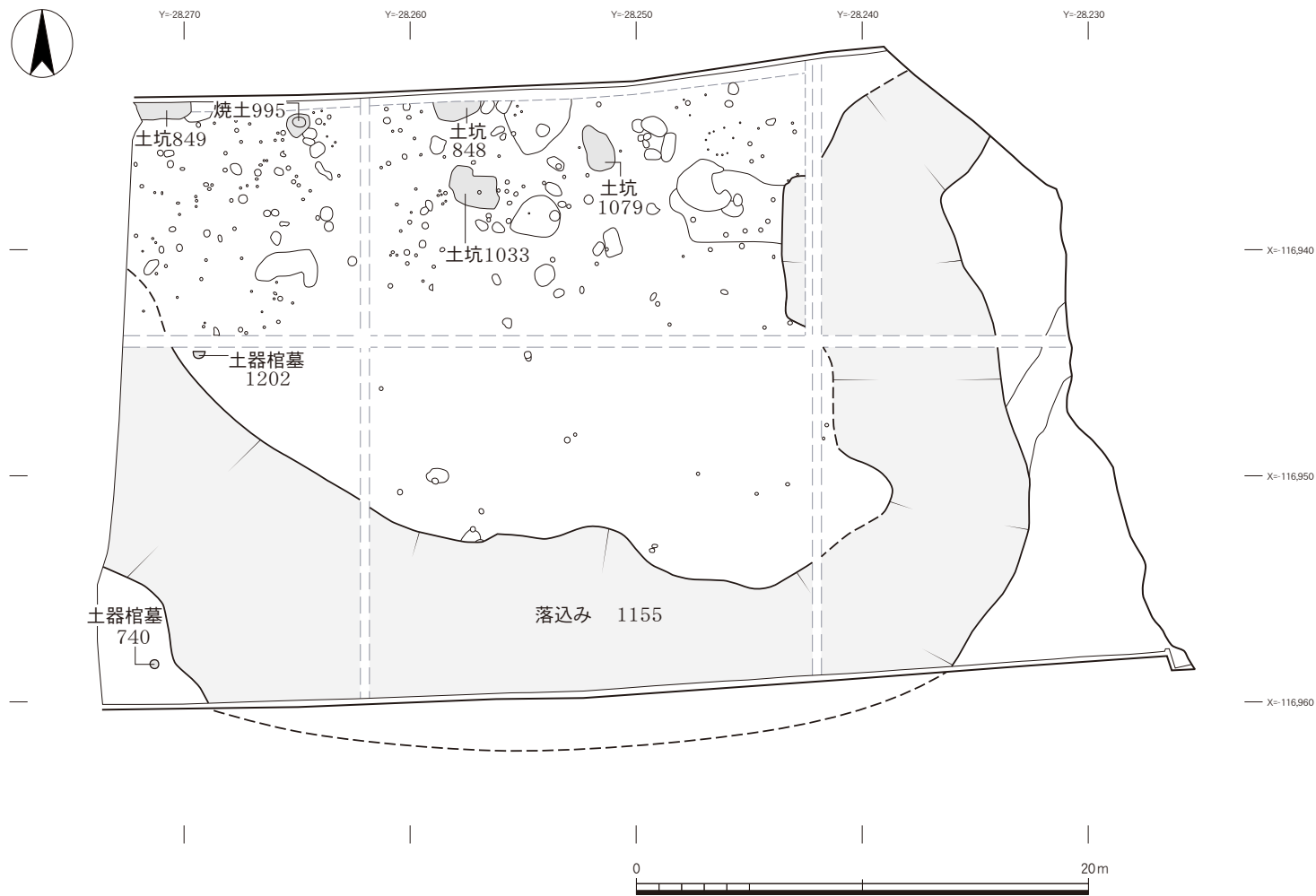


図4 本年度I区縄文時代晩期遺構略図(1/300)

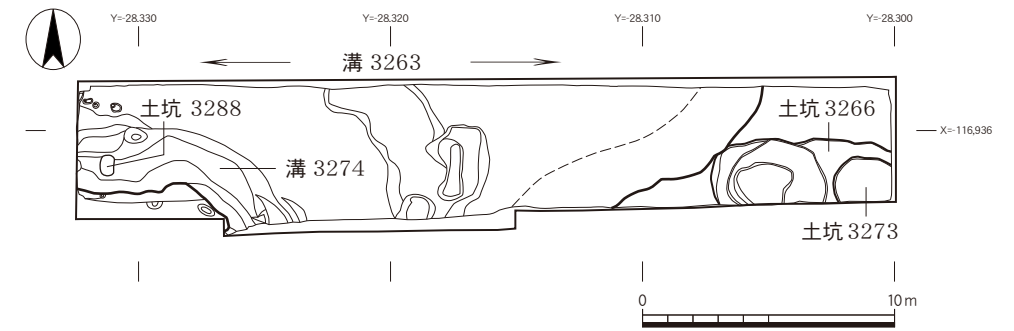


図5 本年度III区縄文時代晩期遺構図(1/300)



写真1 III区全景(南西から)



写真3 土坑3288(南から)



写真2 溝3274遺物出土状況(東から)



写真4 土坑3266(東から、手前は土坑3273)



Y=-28,360

Y=-28,340

Y=-28,320

Y=-28,300

Y=-28,280

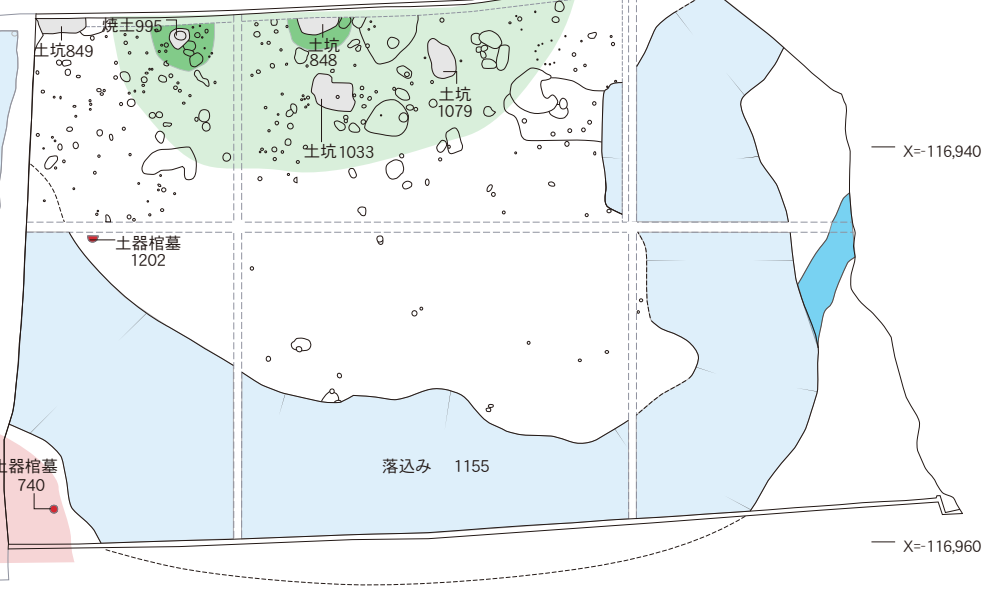
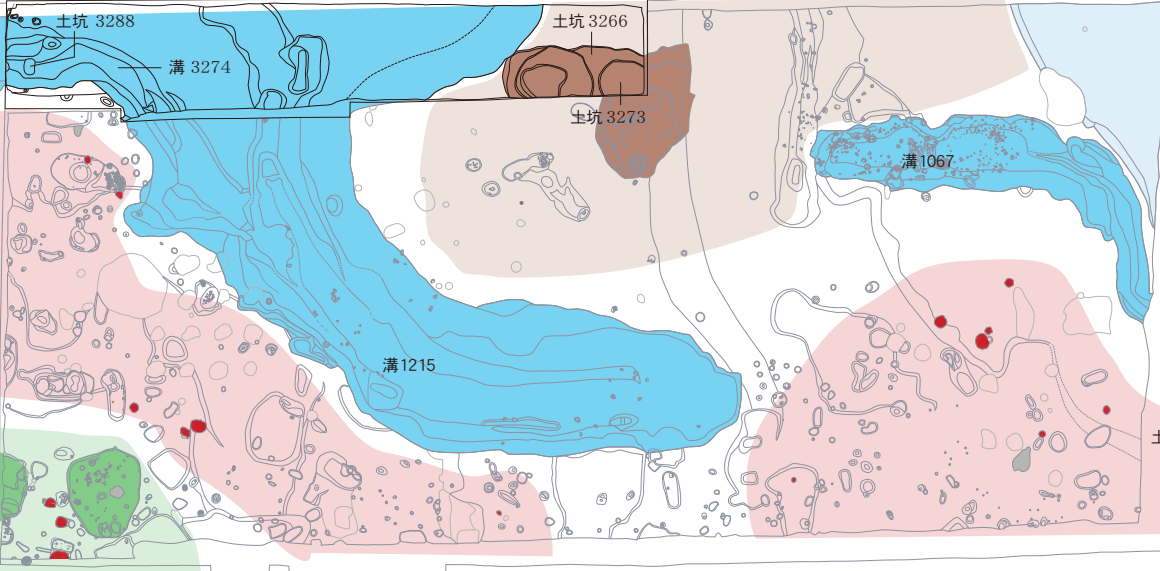
Y=-28,260

Y=-28,240

本年度調査Ⅲ区

本年度調査Ⅰ区

溝 3263



X=-116,940

X=-116,960

2006年度調査

2007年度調査



凡例

- : 竪穴住居
- : 住居範囲
- : 生産址
- : 生産域
- : 墓
- : 墓域
- : 溝

2006・2007年度と本年度縄文時代晩期遺構配置図